

# 平成31年度予算見積調書

課室名：水辺再生課  
 担当名：河川維持担当  
 内線：5114

(単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B44	河川改修費（水辺）		一般会計	土木費	河川費	河川改良費	河川改修費	
事業期間	平成28年度～	根拠法令	河川法第9条、河川法第15条の2			宣言項目	03 大地震など危機への備えの強化	
					分野施策	020518 治水・治山対策の推進		
1 事業概要			5 事業説明					
<p>近年の大規模出水により県民の水害への関心が高まっている。また、護岸の損傷や河床洗掘、土砂堆積は、急な大雨により河川の越水、漏水や破堤等を招き、沿川や流域に住む県民・財産に多大な被害が及ぶ恐れがある。そのため、後背地の状況、浸水実績、施設の損傷度などを踏まえ、優先度の高い箇所について重点的に河川管理施設の機能復旧を実施する。これにより、河川管理施設を良好な状態に保ち、治水安全度の向上を図り、県民の安心安全を確保する。</p> <p>河川改修費（水辺） 913,790千円                      (1) 護岸等の機能復旧 903,790千円                      (2) 河道内堆積土砂の撤去 10,000千円</p>			<p>(1) 事業内容</p> <p>ア 護岸等の機能復旧 903,790千円                      護岸の損傷等について、法面保護等による機能復旧の実施                      河床洗掘により倒壊する恐れのある護岸について、根固め等による機能復旧の実施</p> <p>イ 河道内堆積土砂の撤去 10,000千円                      浸水実績のある箇所またはその近傍に堆積している土砂の撤去                      川幅に比べて堆積している土砂が極めて多い箇所の土砂の撤去</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 損傷した護岸や法面保護などの機能復旧を行う。                      イ 浸水実績のある箇所やその近傍の土砂が堆積している箇所、堆積土砂が極めて多い河道について撤去を行う。</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>ア 護岸の損傷箇所を復旧することで、河川管理施設全体の安全度が向上する。                      イ 河道空間が良好に保たれることで、治水安全度の向上を図るとともに県民の安心安全を確保する。</p>					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)								
3 地方財政措置の状況 県単独河川改修事業債 充当率 90%								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 (1) 事業に係る人件費 9,500千円×2.0人=19,000千円 (2) 組織の新設、改廃及び増員 なし								
			財 源 内 訳				一般財源	前年との 対比
予算額		県 債						
決定額	913,790	875,000					38,790	88,030
前年額	825,760	780,000					45,760	